

## 市長と語ろう！笠間タウントーキング 第2回 議事録

**開催日時** 平成22年6月27日（日） 午後7時～8時30分

**開催場所** 笠間支所 2階 会議室

**参加者** 市民 19人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 笠間市立学校適正規模・適正配置の検討内容について
2. 信号機の設置について（事前質問から）
3. 国道355号の整備について
4. 税収の減少と工業団地への企業誘致の状況と定住化について
5. 定住化政策の内容と笠間市魅力アップの為の要望
6. 住基カードについて
7. 消防団の団員募集について
8. 光ファイバーの推進事業について
9. 生活道路舗装整備について

### 《内容》

1. 笠間市立学校適正規模・適正配置の検討内容について

#### 【意見等1】

笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会ということで、今年の9月に意見答申がされるということだが、少子化が非常に進んでいる現在、市としてはどういう方針なのか。検討内容の進捗状況をお聞きしたい。

#### 【回答1】

まずは、簡単にこの検討委員会について説明します。笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会の「笠間市立学校適正規模」・・・笠間市の子どもたちの学校の適正規模とは、どのくらいが良いのか。

「適正配置」・・・学校をどんな風に配置したら良いのか。

という、笠間市の学校に関する基準をつくるための検討会です。

現在のところ適正な規模として、小学校は1クラス30人。中学校は1クラス35人程度。学級数でいうと、小学校はクラス替えができる1学年2学級で、一つの小学校で12学級以上。中学校は、教員が主要教科、例えば、国語・数学というような教科で二人教員が配置できる1学年3学級で、一つの中学校で9学級以上が適正規模であると考えています。

現在は、適正な配置についての検討に入ったところですが、検討委員会の委員さんからは多くのご意見をいただいているところです。

今後は、7月にも検討委員会で答申をいただき、内容をまとめてパブリックコメント手続制度を行う予定です。皆さんから意見や情報をいただき、正式な答申ということになりましたら、各学校・各地域へと具体的な説明を進めていきたいと考えています。そして、基本計画の作成、委員会の立ち上げを行い、具体的な実施計画の作成へと進めていくところです。もちろん、学校のこれまでの経過等がありますので、皆さんのご意見を伺いながら、慎重に進めたいと考えています。

#### 【意見等2】

要望として、ぜひ思いきって実施計画をたてていただきたい。なぜなら、笠間地区は中学校が4校あるが、部活動やクラブ活動をやるのにも、人数が少なく非常に難しい状態なので、笠間地区の中学校は1校ぐらいにするという計画も良いのではと考えます。現在、笠間市は一年に500人ぐらいしか生まれていない。今から10年先、20年先も考えた場合には、今後の少子化も計画に入れて、実施計画を立ててほしい。

#### 【回答2】

現在、検討委員会で進めています。正直言って意見が少ないです。ですが今後、基本計画が決まって、実施計画になると、具体的に学校の統廃合の話もでてきますので、関心が出てくると思います。市としては、出来るだけ幅広く意見を聞いて進めていきたいと思っておりますが、のんびり構えているわけにはいきませんので、幅広く意見を聞きながら、かつスピーディに決定をして具体的に何年度から実施するという方向付けをしていきたいと思っております。

## 2. 信号機の設置について（事前質問から）

### 【意見等】

才木友部線 笠間23区内 日草場 馬廻りの十字路交差点に交通信号機がいつ設置されるのか。

### 【回答】

23区内の市道才木友部線 市道笠間小原線 交差点の信号は、平成21年度信号機設置要望書（平成21年10月9日付け）の中で要望していますが、今年度の設置箇所には入っておりません。信号機が設置されるには、まず市民の方（区長さんなど）から、市の方に要望を上げていただいて市の方で取りまとめをし、警察を経由して、県警本部の方に提出して設置してもらおうという流れです。ここ5年位の傾向ですと、笠間市に設置されている数は、年に3箇所から4箇所です。そういった信号機設置の状況だということ、ご理解をいただければと思います。

## 3. 国道355号の整備について

### 【意見等】

国道355号の笠間バイパスの工事が止まっているが、増渕工房の前から右に折れる旧道を利用して国道355号につないで、また、県道笠間つくば線から来栖橋につなぐことは出来ないのか。

### 【回答】

国道355の工事ですが、手越地区につきましては、一部用地買収が進んでない部分がありまして、それが解決すれば、工事に入ることとなります。しかし今のところ、来栖の西原に行く県道から、来栖に行く道路、水戸線を横断して涸沼川渡ってくる道路を優先に整備をしています。その工事は平成27年度末の完成を目指して進めているところです。その後、手越の方の区間については整備に入るという予定です。

## 4. 税収の減少と工業団地への企業誘致の状況と定住化について

### 【意見等】

平成21年度の市税に対して、平成22年度の市税が700万くらい減収の状況だが、税収減少に対して、税収を上げる考え等があれば教えてほしい。また、工業団地が結構あいているようだが、工場誘致に対する考えを聞きたい。工場関係で希望をしている企業がいくつあるのか、現在交渉している企業はいくつあるのかを聞きたい。

そして、住民を増やすことについてはどういう対応策や考えがあるのか聞きたい。

### 【回答】

「わかりやすいかさまの予算」17ページに掲載されている、歳入の部分のことですが、対前年比で平成22年度の予算は、1億2千7百万円減の見込みです。減収の原因の一つには、法人市民税・住民税の落ち込みが非常に多いということです。法人市民税は、企業の業績等に左右されることと、住民税は、一定の収入を得ていた人たち、いわゆる団塊の世代が大量退職して、次年度から収入がほとんどなくなってしまうこと、その辺の落ち込みが、大きく影響していると思われます。ですが、この落ち込みは地方交付税7億2千万の増額で若干、カバーされているところがあります。ただ、地方交付税は、借金して配ったようなお金なので、その分、自主財源をどう高めていくか、ということが一つの課題になっています。

自主財源の上げ方として一番効果がわかりやすいのは企業誘致です。ただ、現状を見ますと、岩間地区に大きな工業団地があり、友部地区にはまだ手付かずの茨城中央工業団地、笠間地区には、東工業団地がありますが、実際、企業を誘致できる土地としてあるのは、東工業団地だけです。企業からの問い合わせもありますが、ひとつ大きな欠点として、水が使用できないということがあります。廃棄物処理関係の企業の希望は多いですが、廃棄物処理の中間処理となると、地元との意見調整もありまして、今のところお断りしているのが現状です。また、茨城中央工業団地ですが、県の方でも公募はしているようですが、募集状況は停滞しているようです。笠間市としては、そこに企業が張り付けば、結果的にプラスになりますので、いろいろな形で県に協力していきたいと思っています。

そして、定住化対策についてですが、現在、笠間市の人口は80,000人を切って79,000人台です。ここ5年くらいで1,500~1,600人くらいの人口が減少しておりまして、その大部分が笠間地区です。人口が減るということは、絶対的な活力が失われてしまいます。少子化とあわせて、定住化促進を図るために、いろいろプロジェクトチームを立ち上げて、検討をしているところです。他の市町村では、市営

の住宅を安くしたり、固定資産税を減額したりとさまざまな対策をしています。ある意味で、市町村間で人口の奪い合いになってしまっています。行政間のサービス合戦になっては困りますが、人を呼び込むための目玉的なものを、秋ぐらいまでにはまとめたと思っています。他には、空き家などの情報を集めて、借りたい方に市が仲介に入って貸すことなどを考えておまして、早急に取り組んでいきたいと思っています。

## 5. 定住化政策の内容と笠間市魅力アップの要望

### 【意見等】

笠間市は交通の要衝なので、市全体に魅力を持たせれば定住化も図れて定住化問題の対策になるのではないかと。

市民から道路などの改善要望があれば、何年もかけないで対応してほしい。

北関東道・常磐道が開通して、水戸線の利用具合は落ちていないかどうか。水戸線沿線の魅力をアップしていく働きかけをJRにしてほしい。

笠間稲荷門前通りの交通社会実験の効果はどうだったのか、今後、どういう具合に進めていくのか教えてほしい。

### 【回答】

定住化対策につきましては、プロジェクトチームを作って取り組んでおります。まとまりましたら、ホームページ等で公表をしていきたいと思っています。

長年の課題のところが解決されていないとのことですが、確かにそういう箇所はいくつかあります。ほとんどは道路が中心ですが、基本的にはひとつひとつ解決する努力をしていきたいと思っております。地元のみなさんご協力を得て解決してきた所も何箇所かありますので、そういうことをひとつひとつ丁寧にやっていきたいと思っております。

水戸線の乗降客については、友部駅が横ばい程度で、あとの駅はここ5年間で減少傾向です。水戸線沿線の開発・魅力アップ、スピードアップということについては、JRと年に一度、話し合う機会がありますので、要望していきたいと思っております。ただJRとしては、沿線開発という考え方よりも、駅を中心にした日帰り観光的なものを考えているようです。

笠間稲荷門前通りの交通社会実験は、今年3月の末に商店街の皆さんと連携をしまして、イベントなどを行う形で、一方通行の社会実験を行いました。問題点としては一方通行にすることによって、非常に車の走行速度が速くなったということがあがりました。また、一部の方には、ご不便をきたした等の反対意見もございました。今回の社会実験につきましては具体的な成果として説明できるような状況ではありませんので、ご理解いただきたいと思っております。今後の社会実験は、今年10月を目途に計画中です。その時には周辺の交通量なども一緒に調査して、きちんとした成果が説明できるものと考えています。

## 6. 住基カードについて

### 【意見等】

「住基カード」のことだが、現在、税の申告などはインターネットでもできるような状況になっているが、インターネットを使っていろいろな証明書を自宅でもとれる、または申請が出来るような方法を考えていたら教えてほしい。また、今後どのようにしていくのか計画があれば教えてほしい。

### 【回答】

住基ネットも含めて、自治体のIT化ということで、国が政策を大々的にかかげ、いろいろな政策が実施されました。住基カードもその中の一つだったと思っております。市の方では、わずか2%ぐらいの交付率です。これは県内、どこの市町村も似たような普及状況です。全国の市町村の中には、住基カードに付加価値を付けて、利用拡大を図るような取り組みをしているところもあります。例えば、図書カードなどの図書の貸し出しの機能を住基カードに含む等です。本当は印鑑登録証明書や住民票の交付などを、住基カード一つで、できるというのが理想ですが、一自治体でシステム開発を行うとなると、費用が何千万かかるというので、なかなか思うように進まないのが現状です。住基カードがあまり使われていないという課題は、国も積極的に進めた立場として認識しているようです。新しい今の政府も、地方自治のIT化を積極的に進めていくという方針は出していますが、具体的なものは、今のところ降りてきていない状況です。

## 7、消防団の団員募集について

### 【意見等】

今は消防団員になってくれる人が少なく、消防団員の新旧の交代に苦勞している。将来的には、だんだん欠員が増えてくるのではないかと思うが、欠員が増えた場合、消防団の存続そのものも怪しくなるのではないかと危惧している。この件について、どのように考えているのか？

### 【回答】

現在、笠間市の消防団員は定数が822名、現在の団員数が766名、56人の定員割れとなっています。団員の募集については、消防本部及び消防団本部が主要駅での団員確保のキャンペーンとしてチラシの配布・勧誘を行ったり、インターネットなどで募集の掲載をしたりしています。現状で消防団そのものが成り立たなくなっているという消防団は、聞いておりません。ただ、少子化が進む状況で消防団の存在を考えると、将来的な議論もしていかなければならない時期に来ていると思っています。一方で、団員の確保ということで、区長さんやOBの方などたくさんの方から団員募集のお願いをいただいておりますが、地域によっては集まりにくいというのが実情です。

ちなみに茨城県では、毎年消防団ポンプ操法競技大会を開催していますが、笠間市消防団は県央地区大会において四年連続で優勝しています。笠間市の消防団は、非常に優秀な人材を育てているので、団員の確保についてはしっかり取り組んでいきたいと思っております。また、区長さんにもいろいろ骨折りをお願いするところばかりなのですが、ご協力をお願いしたいと思っております。

## 8、光ファイバーの推進事業について

### 【意見等】

今年、光ファイバーの整備計画の中に箱田地区は入っているのか。

### 【回答】

現在、事業を進めておまして、箱田地区も含めて年明けぐらいには使えるようになると思います。具体的には、NTTが行います。

## 9、生活道路舗装整備について

### 【意見等】

生活道路・舗装整備について、陥没したりするたびに市役所をお願いして、手は加えてもらっているが、生活道路舗装について計画的な整備の予定があるのか。

### 【回答】

生活道路の整備については、舗装幅員4.5m以上を確保するような整備計画を進めています。4m以上の道路につきましては舗装をする。4m以下の道路改良については、出来る限り4.5m以上の幅員を確保するように、区長さんから要望をいただいて進めているところです。舗装補修については、危険回避の上でも補修等を行いたいと考えています。

道路整備事業についての考え方ですが、今後の道路整備の中心は狭い道路や生活道路に予算のウェイトを置いていこうと考えています。あわせて、笠間地区・友部地区・岩間地区の全地区の公共事業として、排水整備などメインの道路のグレードアップにも力をいれていこうと思っています。ただ、合併関係で予定されている道路もありますので、そちらもきちんと仕上げていきたいと考えています。